

一般

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	公害監視・指導事務			事業コード	0245
担当課等	所属名	環境部 環境企画課	担当係名		
	課長名	環境部 環境企画課	担当者名	大坪 雅夫	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	環境との共生	コード 6	施策	生活環境の保全	コード 1
	基本事業	公害の防止	コード 2	関連予算 費目名	一般会計 4款 1項 4目 公害防止対策事業(001-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度			⇒(開始年度 46年度～)		
事務事業の概要	法に基づいた届出の受理, 立入り検査及び原因者に対する指導					
根拠法令等	大気汚染防止法, 水質汚濁防止法, 騒音防止法, 振動規制法, 土壌汚染対策法, ダイオキシン類対策特別措置法, 県民の健康で快適な生活を確保するための環境保全に関する条例					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
高度経済成長期における「産業公害」が問題化され, その対策として法令が整備されたことが事業開始のきっかけとなった。						
この事務事業に対して関係者(市民, 議会, 事業対象者, 利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
公害問題が発生している事業場に対し, より強い指導を求められている。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
旧来の「産業公害」から「都市生活公害」へと変化するなかで, 環境への社会的関心の高まりとともに企業の公害防止に向けた社会的責任も重くなっている。また, 法改正に伴い規制対象事業場, 規制項目等が増加傾向にある。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を, 何を対象としているのか)	市域内の工場及び事業場 市域内での特定建設作業	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 市域内の工場及び事業場数 B. 特定建設作業数 C.	単位 単位 単位	事業所 特定建設作業数
③手段 (事務事業の内容, やり方, 手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 大気汚染防止法, 水質汚濁防止法, 騒音規制法, 振動規制法, 土壌汚染対策法, 県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例等に基づき, 公害発生の原因者に対し指導し, あるいは施設設置等の届出の受理及び立入り調査を行う。  23年度計画(23年度に計画している主な活動)  大気汚染防止法, 水質汚濁防止法, 騒音規制法, 振動規制法, 土壌汚染対策法, 県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例等に基づき, 公害発生の原因者に対し指導し, あるいは施設設置等の届出の受理及び立入り調査を行う。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 法令に基づく届出受理件数 B. 工場及び事業場への立入り調査件数 C.	単位 単位 単位	件 件
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	公害防止に対する意識を高め, 工場及び事業場の事業活動に伴う公害発生を未然に防止する。基準を超過している事業場を指導し, 基準を遵守させる。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 規制基準を達成している工場及び事業場の比率 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input checked="" type="radio"/> 維持する】 B. 法令に基づき適正に届出された件数の比率 【指標の性格: <input checked="" type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】 C. 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位 単位 単位	% %
⑦結果 (上位基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するか)	環境負荷が取り除かれる	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	大気の定点観測環境基準適合率(適合地点数/観測地点数)(単位: %) 水質の定点観測環境基準適合率(適合地点数/観測地点数)(単位: %) 騒音の定点観測環境基準適合率(適合地点数/観測地点数)(単位: %) 振動の定点観測環境基準適合率(適合地点数/観測地点数)(単位: %) 臭気の観測環境基準適合率(適合地点数/観測地点数)(単位: %)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	市域内の工場及び事業場数	事業所	15,757	15,757	15,757	15757	15757	15757	27年度 15757
対象 指標B	特定建設作業数	特定建設 作業数	71	54	83	49	55	55	27年度 55
対象 指標C									年度
活動 指標A	法令に基づく届出受理件数	件	321	314	320	253	370	370	27年度 370
活動 指標B	工場及び事業場への立入調査件数	件	95	72	72	68	68	68	27年度 68
活動 指標C									年度
成果 指標A	規制基準を達成している工場及び事業場の比率	%	100	100	100	100	100	100	27年度 100
成果 指標B	法令に基づき適正に届出された件数の比率	%	63	71	62	78	78	78	27年度 78
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	****
事業費	A	千円	956	929	1,017	943	1,017	1,017	****
財源 内訳	④国	千円							****
	⑤県	千円							****
	⑥地方債	千円							****
	⑦一般財源	千円	956	929	1,017	943	1,017	1,017	****
	⑧その他	千円							****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	956	929	1,017	943	1,017	1,017	****
	延べ業務時間数	時間	480	480	480	480	480	480	****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	1,920	1,920	1,920	1,920	1,920	1,920	****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	2,876	2,849	2,937	2,863	2,937	2,937	****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 工場・事業場や特定建設作業に伴う公害発生を抑制することにより環境への負担は軽減されるため。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	理由: ↳ 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでもいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: ↳ 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: ↳ 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> その他
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 工場・事業場又は建設作業の施工主に対し積極的に啓発を行うことにより成果が上がる可能性がある。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 法令に基づく事務事業であり、休廃止は不可能である。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由:
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 経常的な経費のみで実施している。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 所要時間は届出件数に左右されるため増減の判断はできない。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 法令に基づく事務事業であり、費用負担はなじまない。 ¥

#### 4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など)                  ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること                  法令により義務付けられた届出事項や定められた規制基準を工場・事業場又は建設作業の施工主等に対し積極的に周知することにより、公害防止意識の高揚を図ることができる。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？                  (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む)</p> <p>啓発の手段によってはコストがかかるため費用対効果の高い方法を選ばなければならない。コストを抑えるために組合などの業界団体を利用する方法が考えられる。</p>
---------	--

#### 5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性           ● 妥当           ○ 見直し余地あり                  :                  ② 有効性           ● 妥当           ○ 見直し余地あり                  :                  ③ 効率性           ● 妥当           ○ 見直し余地あり                  :                  ④ 公平性           ● 妥当           ○ 見直し余地あり                  :</p>	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>届出義務のある事業場及び工場に対する法律の周知・徹底が課題である。</p>											
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="2">→</td> <td><input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td><input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携</td> </tr> </table> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">↓</p> <p>方向付けの理由と改革改善の内容                  関係事業者団体等との連携が必要と考えられる。</p>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う				<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)										
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止		<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う										
			<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携										